

広報

2008
(平成20年)



風かおる
人が輝き
躍動するまち

とままえ

5

No.561

まちひとと百景

桜が満開

5月2日、緑ヶ丘公園の桜が例年より1週間以上も早く満開を迎えていた。風に吹かれ、すでに散った花びらもあり、路面をピンク色に染めている。気象庁の開花予想日も、例年より早いか、かなり早いとしていたが...

- 力屋で林野火災発生...2
- ホタテの稚貝で活気づく港...3
- 着任教員・事務職員等の紹介...4
- グレンツェンピアノコンクールで銅賞受賞...6
- まなびの情報...7
- 健康情報...8
- 住まいる情報...10
- 入学ギャラリー...12

まちの人口

人口/3,852人(男/1,805人:女/2,047人)
世帯数/1,672世帯 (3月31日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

炎の海に立ち向かう消防団員



防災ヘリはまなす号による消火活動



ジェットシューターを背負い消火活動を行う



力昼で林野火災発生

迅速な消火活動で最小限に食い止める
人家への影響はなく一安心

4月21日(月)12時5分頃、力昼地区の旧力昼小学校の裏山民有林から煙りが上がっているのを付近の住民が発見し、119番通報した。役場ではすぐさま、森町長を本部長に「力昼林野火災対策本部」を設置。防災ヘリはまなす号の要請、消火資材、自衛隊ヘリの要請など関係機関に迅速な緊急連絡を行った。旧力昼小学校グラウンドをヘリポートとして、「現地災害対策本部」を力昼小学校に設置した。

当日は消防団員のほか、消防職員、役場職員、自衛隊員など約200人以上が迅速な行動で消火活動を行い、午後5時30分頃までに約3ヘクタールを焼いたものの最小限の範囲で火勢を鎮圧することができた。炎が燃えさかる最前列付近で消火活動を行った職員は「もの凄く熱かった。煙で視界が遮られ苦しかった」と現場の状況を話した。

翌日、22日(火)午前3時に自衛隊のヘリが上空から火災現場を観測、午前7時には鎮火確認作業のため自衛隊員や消防職員、役場職員、警察官など約80人が現場に登り、鎮火を確認した。午前8時20分に対策本部を解散し、午前9時から警察と消防による現場検証を行った。出火原因は現在のところ不明である。

火災発生当日の午前中には、苫前、古丹別で「春の火災予防運動」が行われ、車両啓発パレードのほか園児や防火クラブ員によるパレードが行われたばかり、17日(木)には「林野火災予防対策協議会」が行われたばかりである。

霧立、三溪の森林火災が起こったのが昨年7月19日。2年連続の森林火災に関係者は、言葉を失っていた。

特に自然災害はいつ起こるかわからない。町民の皆さん、普段からもしもの場合に備えておきましょう。

ファイヤー通信

春の火災予防運動実施「防火パレード」実施

古丹別地区



苫前地区



四月二十日から三十日までの「春の火災予防運動期間」に伴い、二十一日(月)二十四日(木)苫前・古丹別市街地にて防火パレードと車両啓発パレードが行われた。
パレードでは、園児や婦人防火クラブ員、シルーバー防火クラブ員、町危険物安全協会などが参加して、市街地をパレードしながら火災予防を呼びかけた。
園児は大きな声で、「マッチ一本火事のもと、タバコのポイ捨てやめましよう」と大きな声を響かせながら行進し、火災予防運動を行った。

火事・救急は119番!

北留萌消防組合消防署 苫前支署
古丹別支署

64-2321
65-4119

ホタテ稚貝の出荷で活気づく港

4月初旬、苫前漁港ではホタテ稚貝の出荷が最盛期を迎え、約200人の漁業関係者で活気に満ちていた。早朝から沖合に出漁した漁船が午前5時から午前6時頃までに次々に帰港し、稚貝が入った座布団型のかごをクレーンで陸揚げしていた。

港では家族や関係者らが待ちかまえ、3センチ程に育った稚貝を次から次に手際よくケースに移していた。

稚貝は検品作業が行われたあと保冷トラックに乗せられて宗谷、オホーツク方面の漁業協同組合等に出荷され放流される。この作業は、従事する雇用者も多いことから当町の重要な産業となっている。

作業は5月の連休明けまで続くという。



ホタテ稚貝の出荷作業で活気づく早朝の港



第60回通常総会 苫前町農業協同組合

委任状を含め、正組合員約四百人が出席。松原組合長があいさつする。



4月14日（月）午後1時より町公民館において苫前町農業協同組合（松原幸博組合長）の第60回通常総会が開催された。

あいさつで松原組合長は「貿易自由化による輸入外圧の高まりや原油価格の高騰による生産資材の値上がり、更には飼料高騰など逆風の中で農畜産物の価格は依然として低迷している。こうした中で、昨年度同等の22億4千万円の実績となり、総体的に見ても計画が達成できた。農協設立60年を迎え、今一度農協の原点に帰り理念を踏襲しながら時代に合った農協を目指したい」と述べた。

来賓の森町長および工藤道議会議員は「世界経済の不安定要素や地球温暖化問題など厳しい状況であるが、農業政策は地域経済を支える重要な産業である」とあいさつ。平成20年度事業計画では、産地づくり対策、環境に配慮した安心・安全な農畜産物の生産に取り組み、販売高25億6千万円を計上し、組合員の支援と協力を求めた。また、この日の総会において、1980年から9期27年間、組合長を務めた花井忠昭さんを名誉組合員として表彰した。

「文芸」

苫前町文芸を語る会

（短歌）

自惚れもあるのか桜ゆめのいろ秘めてページの記憶がいらく
賜りし花びらのごとくマフラーは心に浸みる想ひは深し

古丹別 大矢根亮子
札幌市 住吉 美恵

口濁く吾れに似しかヤカンパンニア鈴振りて咲く水の一滴
曇天と地上の袂間によろめきてつと思師なる人とし惚ぶ

古丹別 木幡とく子

娘の暮らし携帯ごしに感じつつ詫びて居るよな夕暮れの雨
ドロップのあき缶に入れる花の種色とりどりの花咲くとまつ

（俳句）

木々の芽も ふくらみ我も 躍動す 古丹別 林 千代美
物いえぬ 友と語りし 春灯や

天人映 七腎峰の 月おぼろ 古丹別 桑 風
春夕陽 白樺光る 前の山

（文責・大矢根）

川柳

穏やかな 八十路の坂も 春の歌 古丹別 運上 吉雄
手づくりで 安全安心 皆笑顔 古丹別 小島 信子

浜仕事 妻の弁当 力添え 古丹別 斎数 範章
福寿草 春と一緒に 幸運び 古丹別 関 武

葱きぞむ 音春眠の 床で聞く 古丹別 鎌田 信夫
（文責・鎌田）

着任教員・事務職員等の紹介

この春、北海道教育委員会の4月1日付け人事異動により、町内小中高校などに新しく着任されました教員・事務職員等の皆様を紹介いたします。

古丹別中学校



佐瀬正幸
教諭
前任校
天塩町立天塩中学校

<抱負>

この度、古丹別中学校に赴任して参りました。素直で礼儀正しい生徒たちに感心することしきりです。私も負けずに頑張っていきたいと思ひます。



藤本直子
教諭
前任校
留萌市立北光中学校

<抱負>

自然豊かな環境の中で、明るく素直に成長していく子どもたちと共に頑張りたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。



宍戸隆則
教諭(期限付)
前任校
天塩町立天塩中学校

<抱負>

天塩町立天塩中学校から苦前町立古丹別中学校へ赴任してきました。生徒と共に様々なことを学んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



山崎ひろみ
事務職員
前任校
増毛町立舎熊小学校

<抱負>

『風の町』にふさわしく、淀むことなく(強風・暴風に注意して)学校の中を新しい・爽やかな5月の風が吹くように仕事をしたいと思ひます。

苦前小学校



富重 彰
教諭
前任校
天塩町立天塩小学校

<抱負>

苦前小学校に勤務することになりました。富重彰と申します。よろしくお願ひいたします。地域の方と早く親しめるように頑張ります。



八谷芳博
校長
前任校
中富良野町立西中小学校

<抱負>

豊かな学びの中で苦前の地域のぬくもりを感じながら、明るい笑顔で瞳が輝く子どもを育成したいと思ひています。よろしくお願ひ致します。



笹原一希
教諭
新規採用

<抱負>

はじめまして、笹原一希です。明るく元気な苦前の子どもたちの笑顔をさらに輝かせられるよう取り組んでいきます。どうぞよろしくお願ひします。



村上俊征
教諭(期限付)
前任校
羽幌町立焼尻小中学校

<抱負>

オンコとめん羊の島、焼尻島より参りました。村上俊征です。爽やかな風と心の花が香る中で子どもたち一人一人が輝くことができるよう、力を尽くしたいと思ひます。



中務彩子
事務職員
前任校
留萌市立東光小学校

<抱負>

毎日、子どもたちの笑顔に元気をもらい、楽しく仕事をしています。限られた学校予算を有効に活用できるように教育の環境整備に努めます。



戸水美保子
初任者研修講師
前任校
初山別町立有明小学校

<抱負>

今度、初任者研修講師として、苦前小学校に参りました。明るく素直で積極的な子どもたちに出会えてとても嬉しいです。どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

苦前商業高等学校



竹内沙耶花
事務職員
新規採用(臨時)

<抱負>

初めての学校勤務ですが、早く仕事を覚えて地元の高校のために精一杯頑張ります。



金濱 茂
校長
前任校
北海道室蘭商業高等学校

<抱負>

商業教育を通して、たくましく心豊かな人づくりに取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

苫前中学校



熊谷太一
教諭
前任校
留萌市立北光中学校

<抱負>
苫前中学校で、生徒と一緒に色々なことを学んでいきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



熊澤重雄
教諭
前任校
留萌市立留萌中学校

<抱負>
教職生活35年目にして、初めての小規模校勤務です。何かとまどうこともありますが、初心に戻ってがんばりたいと思います。吹奏楽部員とキタラのステージめざしてがんばります。



稲垣満博
教頭
前任校
増毛町立増毛第二中学校

<抱負>
苫前町で勤務するのは、初めてのことです。新しい町で新しい学校で、新しい気持ちで頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



長門琢也
教諭(期限付)

<抱負>
苫前町のこと、苫前中学校の生徒のことを理解していきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。



堀由美子
教諭
新規採用

<抱負>
苫前に初めて来た時に海の青さと風車の白さが鮮やかで景色が良く大変感動しました。未熟者ですが、頑張りますのでよろしくお願いいたします。



赤川沙織
教諭(期限付)
前任校
増毛町立増毛中学校

<抱負>
特別支援学級と音楽を担当します。全先生方と力を合わせ、保護者・地域の皆様にお力をいただきながら一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。



広瀬あゆみ
教諭
新規採用

<抱負>
苫前に来る時に見た風車の並ぶ景色に感動しました。苫前町の一員として過ごせることに感謝しています。どうぞよろしくお願いいたします。



赤石奈美子
教諭(期限付き)

<抱負>
私は今、この苫前町で教師として歩み出すことができ、大きな喜びを感じております。お手数をおかけすることもあります。どうぞよろしくお願いいたします。

古丹別小学校



高橋 誠
教諭(期限付)
前任校
幌延町立間寒別小中学校

<抱負>
早く古丹別小学校に慣れ、子どもに優しく、ときに厳しく状況に応じた接し方が出来るように頑張りたいと思います。



村田友子
養護教諭
前任校
留萌市立幌糠小学校

<抱負>
「さわやかな笑顔」「元気いっぱいのおいさつ」のある古丹別小学校に着任できましたことを心よりうれしく思います。心も体も元気で、過ごせるよう応援していきます。



工藤朋江
教諭
前任校
留萌市立東光小学校

<抱負>
古丹別小の子どもたちとともに、楽しく毎日を過ごしています。早く環境に慣れて学校や地域に貢献したいと思います。どうぞ宜しくお願いします。

苫前町職員



鈴木久美子
保健師
前勤務先
東京都新宿区健康部計画推進課公害保健係(公害保健相談)

<抱負>
皆様の健康づくりのためにお役に立てるように頑張ります。前任地では、気管支喘息など呼吸器疾患の方への相談を担当しておりました。どうぞよろしくお願いいたします。



グレンツェンピアノコンクール関東大会で銅賞受賞

夢は金メダル！

本田愛珠さん（現在苦小一年）が三月二十日（日）に東京の浜離宮朝日ホールで開催された全国規模の大会である第十七回グレンツェンピアノコンクール関東大会に北海道代表として出場し、課題曲の「マクドナルドおじさん」を演奏。日頃の練習の成果を発揮して、幼児Aコース三十五人の中から『銅賞』を受賞した。

愛珠さんは「緊張はしなかった。いつも通りに弾きました。本当は金がほしかった」と笑顔の中に悔しさも見せた。愛珠さんは、五歳から羽幌のヤマハ音楽教室に通い、グループレッスンを受けている。お母さんの環さんは「自分で納得しないと食事を取らずにピアノに向かっていきます」と話していた。

愛珠さんに将来の夢を問うと、「浅田真央ちゃんのように金メダルが取れるフィギュアスケート選手になりたい」と話し、金メダルへの夢をふくらませた。ヤマハ音楽教室の坂口環先生は「始めて間もない愛珠ちゃんにとって今回の受賞は大きな自信になったと思う。この夏にもいろんなコンクールにチャレンジして、前向きにピアノに向かってほしいと願っています」と激励。

次のコンクールでは、兄の脩陽くん（苦小四年）と連弾にも挑戦する予定である。



笑顔で元気に受け答えをしてくれた愛珠さん



浜離宮朝日ホールで演奏する愛珠さん

幼年消防クラブ員が放水&消防車両乗車体験

4月25日（金）古丹別保育所（川森のり子所長）の園児34人が消防士の体験を行った。

伊藤支署長は、あいさつで「絶対に火遊びをしないこと」と話し、園児らは大きな声で「はい」と返事をした。

青組の園児は、消防服をまとい一人ひとりが順番に職員に支えられながらホースをもって放水し、水の行き先を真剣なまなざしで追っていた。また、消防車両に乗車して古丹別市街地を巡回しながら火災予防も呼びかけていた。

真剣なまなざしで放水体験をする様子



春の交通安全青空教室

4月24日、古丹別小学校（玉野昭二校長、児童95人）25日、苦前小学校（八谷芳博校長、児童94人）で、交通安全青空教室が行われた。

古小では、玉野校長が「交通ルールを守ること。自分の命は自分で守ることを勉強しましょう」とあいさつ。鈴木憲作古丹別駐在所長が「道路を横断するときは、右を見て左を見て、もう一度右を見て安全を確認しましょう」と話した。

この後、学年ごとに、横断歩道の渡り方、自転車での横断の仕方などを学んだ。

また、渡部工業（古丹別）の職員2人がダンプカーを活用して、子どもを運転席や助手席に乗せながら運転していて見える所、見えない所を体験させ、ダンプカーの近くで遊ばないことなどを指導した。

町民の皆さんで協力して、子どもや高齢者を交通事故から守りましょう。



小学校前の横断歩道で、手を上げて横断の実践を学ぶ